

闇の中に輝く光⑥ 「わたしは、神によって生まれた！」ヨハネ 1:35-51

神によって生まれた弟子たち

今日の聖書の箇所によると、イエスさまは二日間で5人の人をご自分の弟子として招いてくださいました。わたしたちはこの5人がそれぞれの状況の中でイエスさまに出会っていく物語を読むときに、自分自身が初めてイエスさまに出会ったときへと招かれます。そのような思いでしばらく5人の物語に耳を傾けてみましょう。

①まず、アンデレは自分の先生から紹介を受けてイエスさまに従いました(37節)。すると、イエスさまはアンデレに「何を求めているか」と言われ、アンデレは「どこに泊まっておられるのですか」と答えました(38節)。その言葉にイエスさまはこう言われました。「来なさい。そうすれば分かる。」(39節)その日、アンデレはイエスのもとと一緒に泊まりました。このように自分から積極的に求めてイエスに出会ったアンデレは、イエスさまについてこう言いました。「わたしたちがメシアに出会った。」(41節)

②41節の言葉の主語が「わたしたち」になっていることには理由があります。イエスさまに従ったバプテスマのヨハネの弟子の中でアンデレ以外にもう一人の弟子がいて、彼もアンデレと同じくイエスさまを求め、同じくイエスさまがメシアだと告白したのです(37, 40節)。多くの学者たちによるとその弟子はこの福音書を書いたヨハネではないかと言われています。仲間の後ろに隠れて目立たないように真理を求めていた一人が、後にはイエスさまに愛され、その愛を伝えるために大きく用いられるようになったのです。

③次に、シモンは兄弟であるアンデレに「メシアに出会ったから一緒に行ってみよう」と誘われて、イエスさまのところに行きました。すると、イエスさまはシモンを見つめて、「岩」を意味するアラム語のケファ、ギリシャ語でペトロという新しい名前を与えてくださいました(41-42節)。イエスさまはどのようにして新しい名前を与えてくださったのでしょうか。ここにある「見つめる」という言葉には、関心と愛をもって注目し、相手を見抜いて知るという意味が込められています。イエスさまはシモンを見て彼がこれからどんな働きを担うことになるかを分かって、その歩みにふさわしい名前、新しいアイデンティティを与えてくださったと思います。家族の誘いによって導かれ、後には誘った家族より熱心なキリスト者になったのです。

④次は、アンデレとペトロと同じ町の出身でフィリポという人です。彼は町に出かけたときにたまたまイエスさまの一行に出会い、イエスさまに「わたしに従いなさい」と言われ、弟子となりました(43節)。偶然と思うそのとき、主の計画の中でイエスさまに出会い、「モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に出会った。」(45節)と告白しました。

⑤最後にナタナエルはフィリポの友人で、フィリポから「(その方は)ナザレの人で、ヨセフの子イエスだ。」(45節)と言われたとき、ナザレに対する先入観のゆえに「ナザレから何か良いものが出るだろうか」(46節)と初めてイエスさまを拒否した人でした。フィリポはそんな彼にイエスさまが最初に弟子となったアンデレに言われたように「来て、見なさい」と言って(46節)、イエスさまのところへ導きました。すると、イエスさまは彼に向かって「まことのイスラエルの人だ」(47節)、「わたしは、あなたがフィリポから話し

かけられる前に、いちじくの木の下にいるのを見た」(48 節)とされました。そのとき、ナタナエルの心は開かれ、新しくされ、イエスさまに「あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です」(49 節)と、今まで誰も告白できなかった真理を告白することができました。そして、イエスさまに「いちじくの木の下にあなたがいるのを見たと言ったので、信じるのか。もっと偉大なことをあなたは見ることになる。」(50 節)と約束の言葉、新しいビジョンの言葉を受けました。友人のお誘いを受けても疑っていた人がイエスさまに出会い、新しいビジョンに向かって生きる立派なキリスト者になったのです。

皆さんはどのようなきっかけでイエスさまに出会ったのでしょうか。どのようなきっかけで今礼拝を守っておられるのでしょうか。アンデレのように心の渇きや真理を求める思いの中でご自分から求めたのでしょうか。名前も記されていない弟子のように友人の後ろに隠れて静かに求めたのでしょうか。ペトロのように家族に誘われたのでしょうか。フィリポのようにたまたまの出来事がきっかけになったのでしょうか。ナタナエルのように疑いの中でも友人に誘われて教会に来られたのでしょうか。このようにそれぞれがいろんなきっかけで教会に導かれ、イエスさまに出会ったでしょう。

また、皆さんはどのような形でイエスさまに出会いましたか。ある方はアンデレともう一人の弟子のようにイエスさまと共に時間を過ごすこと、すなわち、教会の中で聖書の真理に触れ、個人的に真理を悟ってキリスト者になります。ある方はシモンのように示された御言葉を通して心も生き方も急激に変わってキリスト者になります。ある方はフィリポのように知り合いや友人と共に学ぶことでキリスト者になり、ある方はナタナエルのように他人は分からない不思議な出来事を通してキリスト者になります。

それから、皆さんはどんな言葉で信仰告白をしましたか。アンデレともう一人の弟子はイエスさまをシンプルにメシアと告白しました。イエスさまこそ、今まで探し求めた救い主だという告白なのです。シモンは特別な言葉よりも考え方や生き方の変化で告白しました。フィリポは聖書を通して具体的な説明を加えて告白しましたし、ナタナエルは聖霊の導きの中で深い真理を告白することができました。

それぞれが異なったきっかけで主に導かれ、異なった形でキリスト者となり、異なった言葉で信仰を告白します。イエスさまに導かれ、出会い、信仰を告白したバプテスマ式を思い起こすことは、「初めのころの愛から離れない」(黙示録 2:4)ための秘訣であり、闇の中でも輝く信仰に生きる道なのです。

「あなたがたは見ることになる」

イエスさまは最後に 5 人の弟子たちに一つの大事な真理を教えてくださいました。多様性のある信仰の歩みの中でも、キリスト者ならだれでも体験できる祝福の約束の御言葉です(51 節)。この言葉は創世記 28 章にヤコブが石を枕にして野宿していたときに見た夢を思い起こします。ヤコブが地においた石の枕の上に天まで届く階段があり、そこから天につながるように、イエスさまは「人の子の上に」と語られ、ご自分が神の家となり、天の門になって、それを弟子たちが「見ることになる」と約束されたのです。主に導かれ、キリストに出会い、弟子として歩んでいる者は皆、イエス・キリストを通して、生きておられる神さまにつながる喜びと恵みを受けることができます。ハレルヤ!